

令和6年度履修制限科目一覧

1. 履修に条件のある科目

科目名	履修条件
世界史研究入門	高等学校において、世界史を履修済みのこと
物理学実験	原則として、授業科目「物理学」を履修済みのこと。受講者が24人を超えた場合、人数制限をする。
化学実験	授業科目「化学」を履修済みのこと
中等英語科指導法 (授業論)	授業科目「中等英語科指導法(教授法)」を履修済みのこと、英語検定2級相当の英語力を有していることが望ましい
社会科・公民科指導法	「社会科・公民科教育学基礎」と「社会科・公民科指導法」の両方を受講する者(中学校社会科および高等学校公民科の教員免許を取得する者)は、原則として「社会科・公民科教育学基礎」を先に履修すること
社会科・地理歴史科指導法	「社会科・地理歴史科教育学基礎」と「社会科・地理歴史科指導法」の両方を受講する者(中学校社会科および高等学校地理歴史科の教員免許を取得する者)は、原則として「社会科・地理歴史科教育学基礎」を先に履修すること
初等社会科指導法	教育職員免許取得プログラム(免P)受講生や科目等履修生はシラバスのコマ欄に「大学院免許P」と記載されている科目を受講すること
学校臨床心理学特論	公認心理師資格要件の科目であるため、心理臨床コースの学生を優先する。個人情報を含む事例を取り扱い、グループ討議等を行うため、授業全体の受講者数が25名を超えた場合は受け入れない。また履修登録前に担当教員に連絡をとること。
線形代数学	授業科目「基礎線形代数学」を履修済みのこと
代数学概論	授業科目「基礎線形代数学」および授業科目「線形代数学」を履修済みのこと
保育学実習	授業科目「保育学」の単位を修得済であること
被服製作の理論と実習	授業科目「被服学」を履修済みのこと
初等体育科指導法	授業科目「ブリッジ科目『体育』」を履修済みのこと
中等保健体育科指導法 (課程論)	保健体育分野専門科目の本学2、3年生を対象とした実技科目を履修済みのこと
中等保健体育科指導法 (授業論)	保健体育分野専門科目の本学2、3年生を対象とした実技科目を履修済みのこと
被服製作の理論と実習	家庭コースの学生を優先し、及び実習室のスペースの関係で、授業全体の受講者数が8-12名を超えた場合は受け入れない
調理の理論と実習	家庭コースの学生を優先し、及び実習室のスペースの関係で、授業全体の受講者数が8-12名を超えた場合は受け入れない
初等音楽科指導法	教育職員免許取得プログラム(免P)受講生や科目等履修生はシラバスのコマ欄に「大学院免許P」と記載されている科目を受講すること
総合・生活	教育職員免許取得プログラム(免P)受講生や科目等履修生はシラバスのコマ欄に「大学院免許P」と記載されている科目を受講すること
英語音響音声学	(原則的に)英語音声学を履修済みであること
図画工作科指導法	教育職員免許取得プログラム(免P)受講生や科目等履修生はシラバスのコマ欄に「大学院免許P」と記載されている科目を履修すること。受講生の人数が多い場合は制限を設け、教育職員免許取得プログラム(免P)受講生2、3年生の受講を優先する
初等家庭科指導法	教育職員免許取得プログラム(免P)受講生や科目等履修生はシラバスのコマ欄に「大学院免許P」と記載されている科目を履修すること。

2. 履修できない科目

以下の科目に関しては科目等履修生を受入れできません。

①教育実習を行う科目

大学院に在籍する現職教員(教育委員会等から派遣された学生・修学休業制度等利用の学生)が学部科目等履修生に出願する場合に限り認めることがありますので、出願前に窓口でお申出ください。この場合、以下のことが条件になります。

- (1) 各年度の教育実習受入可能人数を勘案し、可能である場合のみ認めます。
- (2) 「教育実地研究Ⅲ(初等教育実習)」又は「教育実地研究Ⅳ(中等教育実習)」を履修する場合は、履修しようとする年度前に「教育実地研究Ⅱ(授業基礎研究)」の単位を修得していることが必要です。

②保育士関係授業科目

社会福祉、子育て支援、障害児保育、養護原理、養護内容

③その他以下の授業科目

【学部科目】

教育評価の方法と技術(心理的アセスメント)、心理実習、心理学実験

【大学院科目】

臨床心理学特論Ⅰ、臨床心理学特論Ⅱ、臨床心理面接特論Ⅰ(心理支援に関する理論と実践)、臨床心理面接特論Ⅱ、臨床心理査定演習Ⅰ(心理的アセスメントに関する理論と実践)、臨床心理査定演習Ⅱ、臨床心理基礎実習、臨床心理実習ⅠA(心理実践実習ⅠA)、臨床心理実習ⅡA(心理実践実習ⅡA)、臨床心理実習ⅡB、心理実践実習ⅠB、心理実践実習ⅡB、臨床心理実習Ⅱ、心理実践実習Ⅱ～Ⅷ、課題研究フィールドワーク(心理実践実習Ⅰ・臨床心理実習Ⅰ)